

# 2019年～2023年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** オーラルフレイルと末梢血テロメア長との関係

## 研究の目的

テロメアの長さは、細胞の寿命を表しており、末梢血テロメア長は「個体の老化」を表すパラメータと考えられています。しかし、口腔環境とテロメア長に関する研究はほとんどありません。そこで本研究では、口腔の老化とも言えるオーラルフレイルとテロメア長との関係を横断的、縦断的に明らかにすることを目的としています。

- ・ 仮説：口腔機能が低下するオーラルフレイルではテロメア長が短縮しているのではないかと仮説を立てました。
- ・ 解析デザイン：口腔機能検査として歯数・舌圧・オーラルディアドコキネシスにより口腔機能を評価しテロメアとの関係を解析する分析的観察研究を行います。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 2025年3月31日

**対象となる方：** 2019年～2023年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

## 利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である小林 恒の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

-----  
先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2020-046-4、2020-046-1、2020-046-5、2021-166-3、2023-007-1）」において2019～2023年に取得された別紙のデータ

別紙① 健診データリスト

別紙② 血液データリスト

-----  
具体的には、最初に横断研究として2019年参加者を対象とし口腔機能低下とテロメア長の関係を解析します。

横断研究：目的変数をテロメア長とし、独立変数を口腔機能低下、歯周病の有無、調整因子として年齢、性別、高血圧、脂質異常症、WHO-5（精神的健康状態表）、赤血球、ヘモグロビン、アルブミンを検討しています。ロジスティック回帰分析により統計学的に解析を行います。

縦断研究：横断研究の結果を踏まえて2019年から2023年にかけての連続参加者を対象として経時的な口腔機能低下とテロメア長の変化の関係を多変量解析により統計学的に検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2020-046-4, 2020-046-1, 2020-046-5, 2021-166-3, 2023-007-1）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

<b>本件連絡先</b>	弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 教授・小林 恒 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5127 Email：wako@hirosaki-u.ac.jp
<b>情報利用停止願送付先</b>	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205